

大規模スポーツイベントを契機とした市民の健康づくりにつながる取組について

スポーツは、心身の健全育成や体力の向上、生活習慣病予防による医療・介護費の削減の効果があります。そのため、本市では「横浜市スポーツ推進計画」に基づき、全ての市民がいきいきとした生活を送るとともに地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことを目標として様々なスポーツ振興の取組を推進しています。

なかでも、大規模スポーツイベントの開催は、市民のスポーツ観戦（みる）やボランティア活動（ささえる）に参加する機会を増やすのみならず、スポーツへの関心を高め、スポーツ人口（する）の拡大が期待できます。

【主な大規模スポーツイベントと健康づくりにつながる取組】

大会名称	横浜マラソン 2019	ラグビーワールドカップ 2019™	東京 2020 オリンピック・パラリンピック	
1 大会規模・概要	<p>○ランナー：28,000人</p> <ul style="list-style-type: none"> フルマラソン（42.195km） 26,920人 1/7フルマラソン（6.0278km） 1,000人 1/7フルマラソン車いす（6.0278km） 30人 2km（車いす・付添伴走（介助）可） 50人 	<p>○参加チーム：20チーム</p> <p>○観客動員数：横浜国際総合競技場6試合、延べ401,742人（全45試合 延べ1,704,443人）</p> <p>○ファンゾーン入場者数：横浜会場13日間 延べ153,700人（12都市16会場 延べ約1,137,000人）</p>	<p>○横浜での開催競技・試合数（決勝戦を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカー競技（横浜国際総合競技場）：11試合 野球競技（横浜スタジアム）：15試合 ソフトボール競技（横浜スタジアム）：11試合 	
2 取組内容	(1) する	<p>○節目イベント等における競技体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> 開幕500日前イベント（ラグビー体験コーナー） 開幕200日前イベント（女性のためのラグビーエクササイズ体験） ラグビーバスツアー（ラグビー体験教室） ストリートラグビー体験 吉田義人 親子ラグビー教室（18年度：全6回） <p>○日本代表選手等による小学校訪問事業（年間18校）</p> <p>○各区でのタグラグビー、ラグビー出前講座、体験会等</p>	<p>○節目イベント等における競技体験等</p> <ul style="list-style-type: none"> 開幕1年前イベント（ミニ野球、ブラインドサッカー体験会等） 開幕200日前イベント※（スポーツ体験等）※R2.1.25(土)予定 <p>○オリンピック・パラリンピアン学校訪問事業（年間53校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技実技指導、車いすバスケット体験会等 <p>○学校や各区でのパラスポーツ体験会等</p> <ul style="list-style-type: none"> オリンピック・パラリンピック教育推進校向けプログラム（パラスポーツ体験会、アスリート講演会等） 	
	(2) みる	<p>○沿道応援者数 約688,000人</p> <p>○横浜マラソンEXPO2019 約40,000人</p>	<p>○ファンゾーン（来場者数：延べ153,000人）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中、臨港パークでのパブリックビューイング、ステージイベント、ラグビーアクティビティ等 <p>○パブリックビューイング</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中、各区公会堂等計7か所で実施（延べ1,528人） <p>○こども招待</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜での2試合に県下ジュニアラグビー選手を招待（771人） 	<p>○東京2020ライブサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中、横浜市役所アトリウム（新市庁舎）、横浜文化体育館での競技中継、競技体験、ステージイベント等 <p>○パブリックビューイング</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会期間中、市内複数か所で実施予定 <p>○学校と連携したパラスポーツ観戦（通年）</p> <p>○各イベントでのオリンピック・パラリンピアン等によるミニトーク</p>
	(3) ささえる	<p>○ボランティア 約8,000人（速報値）</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内誘導、手荷物預かり、給水等 	<p>○ボランティア 約1,500人</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内誘導、ファンゾーン補助、美化推進等 	<p>○都市ボランティア 約2,700人</p> <ul style="list-style-type: none"> 案内誘導、ライブサイト補助、美化推進等
3 取組の様子	 <p>【2km 車いすマラソン】</p>  <p>【YOKOHAMA TALK♥RUN FOR WOMEN】</p>	 <p>【ファンゾーン】</p>  <p>【ラグビーアクティビティ】</p>	 <p>【ブラインドサッカー体験会】</p>  <p>【パラリンピアン講演会】</p>	
4 広報等	<p>ホームページ・広報よこはま・SNS（Facebook・Twitter・Instagram）・記者発表・チラシ配布・ポスター掲出 等</p>			

健康寿命の延伸に向けた広報・プロモーションの取組と主な事業について

1 趣旨

横浜市では、市民の健康寿命の延伸を目指し、市民の健康増進計画である『健康横浜21』や、高齢者に関する『横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画』等に基づき、都市型の健康づくりモデルの創出とオール横浜で健康づくりに取組む機運の醸成に取り組んできました。

なかでも、広報・プロモーションについては、『中期計画』に戦略や取組の方向性を掲げ、ロゴマークやキャッチフレーズの作成、各区・民間事業者・関係団体等と連携した広報、SNSの活用などを進めてきました。

2 広報・プロモーションの取組

中期計画	期間	平成 22～25 年度	平成 26～29 年度	平成 30～令和 3 年度	
	戦略	100 万人の健康づくり戦略	戦略 1 「あらゆる人が力を発揮できるまちづくり戦略」	戦略 3 「超高齢社会への挑戦」	
	方向性	高齢者がいつまでも生き生きと活躍できる地域社会づくり	370 万人の健康づくり 健康寿命日本一への挑戦	健康で自立した生活の継続 健康寿命の延伸	
	キャッチフレーズ	・100 万人の健康づくり ・さあ歩こう、ヨコハマ。	・370 万人の健康づくり ・さあ歩こう、ヨコハマ。	+1 (プラスワン) で 健康寿命を延ばそう	
	ロゴマーク	 			
	区や民間事業者等との連携	・健康づくりと介護予防の一体的広報「歩こうキャンペーン」	・市内プロスポーツチーム等と連携した映像PR ・横断幕等の市庁舎屋外広告 ・市の重点PR事項として、ウォーキングポイント事業の戦略的な広報	・介護予防と健康づくりの一体型PRイベント ・スポーツ庁、厚生労働省、民間企業と連携したヨガイベント（横浜スタジアム） ・ウォーキングポイント事業を通じた広報活動	
	SNS	ツイッター（健康づくりに関する情報発信）（健康ファミリー、平成 25 年度～）		フェイスブック（ウォーキングポイント、平成 29 年度～）	
	キャラクター	「健康ファミリー」 (平成 25 年度～) 			

3 主な事業

中期計画	平成 22～25 年度	平成 26～29 年度	平成 30～令和 3 年度
その他計画	第 1 期 健康横浜 2 1	第 2 期 健康横浜 2 1 (平成 25 年度～令和 4 年度)	
		健康アクション・ステージ 1	健康アクション・ステージ 2
主な事業	<p>①シニアボランティアポイント事業</p> <p>高齢者のボランティア活動にポイントを付与し、換金や寄付ができる事業 (H21～)</p> <p>②健康スタンプラリー事業</p> <p>催事や講座等でスタンプを 2 つ集めると抽選に参加できる事業 (H25～)</p> <p>③市民の健康づくり推進事業</p> <p>健康横浜 21 の推進に関する総合的な健康づくり事業、区の健康づくり事業等 (S58～)</p>	<p>①よこはま健康スタイル</p> <p>・ウォーキングポイント事業</p> <p>歩数計を持ち歩くとポイントが貯まり、抽選で景品が当たる事業 (H26～)</p> <p>・シニアボランティアポイント事業</p> <p>・健康スタンプラリー事業</p> <p>②市民の健康づくり推進事業</p> <p>③ウェルネスプロモーション事業</p> <p>広告、企業タイアッププロモーション、健康フォーラムの開催等</p> <p>④健康経営企業応援事業</p> <p>横浜健康経営認証制度や認証企業への支援など、働く世代が対象の事業</p> <p>⑤糖尿病等の重症化予防事業</p> <p>健診結果等に基づく保健指導等</p> <p>⑥ロコモティブシンドロームの予防啓発</p>	<p>①よこはま健康スタイル</p> <p>・ウォーキングポイント事業</p> <p>歩数計に加えて、スマートフォン専用アプリの配信を開始 (H30～)</p> <p>・シニアボランティアポイント事業</p> <p>・健康スタンプラリー事業</p> <p>②市民の健康づくり推進事業</p> <p>健康横浜 21 推進に関する総合的な健康づくり事業、区の健康づくり事業、広告、企業タイアッププロモーション、健康フォーラムの開催等</p> <p>※ウェルネスプロモーション事業を統合</p> <p>③健康経営企業応援事業</p> <p>横浜健康経営認証制度や認証企業への支援など、働く世代が対象の事業</p> <p>④糖尿病等の重症化予防事業</p> <p>健診結果等に基づく保健指導等</p> <p>⑤フレイル(加齢による身体の衰え)・ロコモティブシンドローム・オーラルフレイル(口の機能の衰え)等の予防啓発</p>